

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田/笹木		
科目名	エステティック概論/関係法規・制度	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ねらい	エステティック業に従事する為に、関連する法律の基礎知識を学び、法律内容・専門用語を正確に理解する				
授業回	学習内容				備 考
1	エステティックの概念 1. エステティックとは何か 2. 内面美容としてのエステティック 【到達目標】エステティックの本質である「美」「美学」を学び、精神的・心理的・情緒的に満足を与える要素があることを理解する				
2	【エステティックの本質と領域】1. エステティックの語源と歴史 2. エステティックの領域 【到達目標】エステティックの発祥と日本に根付くまでを理解し、日本のエステティックの歩みを学ぶ				
3	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中12点以上で合格				
4	【美と健康】1. 健康美は心身のバランスから 2. ウェルネス 3. アンチエイジング 【到達目標】健康美の概念を理解し、ウェルネスとエステティックの接点を考える				
5	【エステティシャンとしての心構え】 1. エステティシャンの資質 2. ホスピタリティーマインドの意義 【到達目標】サロンが求める人材を理解し、理想のエステティシャンについて学び実践につなげる				小テスト
6	【日本のエステティック】1. 歴史と業界の現状 2. エステティックの市場の現状と展望 3. エステティック業界団体 【到達目標】エステティックの将来性や成長性の要因、今後の方向性を学び理解する				
7	【世界のエステティック】 1. 欧米における歴史と現状 2. アジアにおける歴史と現状 3. 各国のエステティシャンの教育と資格 【到達目標】各国のエステティックの現状を理解し、各国の教育システムについて理解する				
8	【エステティシャンの認証制度・資格制度】 【到達目標】認証・資格制度を理解し、消費者から信頼を得るために必要な具体的な基準を学ぶ				小テスト
9	模擬問題・解説				

授業回	学習内容	備 考
10	【法の基礎知識】 1. 社会生活と「法」 2. 法とは社会規範 3. 法の強制力 4. 法の原則 5. 日本の資格制度 6. エステティックと法律 【到達目標】 エステティックと法律がどのように関わるのかを学び理解することが出来る	
11	【消費者保護】 1. 消費者政策 2. エステティックに関連する消費者トラブル 3. トラブル対応の心得 【到達目標】 エステティックにおけるトラブルの現状を認識し、トラブルを防止する方法を学ぶ	小テスト
12	【人の身体に直接触れる職業に関連する法律】 1. 四つの衛生法規 2. エステティックに関わりの深い衛生法規 【到達目標】 法律により、資格や職務内容の規定を理解する	
13	【経済行為に関連する法律】 1. 商法 2. 集客 3. 個人情報保護に関する法律 4. 民法 5. 消費者契約 6. 消費者契約法 7. 特定商取引に関する法律 8. 割賦販売法 9. 都道府県条例 【到達目標】 契約に関わる法律の目的を理解し、契約条項を具体的に理解する	小テスト
14	【エステティック業界の統一自主基準】 1. 自主基準政策の目的 2. エステティックの定義 3. 日本エステティック振興協議会の倫理綱領 4. サロン遵守事項 【到達目標】 自主基準の定義等を理解し、倫理綱領の項目を理解する	小テスト
15	模擬問題・解説	
16	後期筆記試験	
到達目標	エステティックの安全・安心の社会意義とその重要性を理解し、コンプライアンス意識と正しいエステティック業を営むために必要な能力が備わる	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない。また、小テスト20点満点とし、小項目ごとに実施する(12点以上合格)	
テキスト	新エステティック学理論編Ⅲ、エステティック関連法規(AEA)、 エステティシャンセンター試験問題集 AEAエステティシャン認定試験例題集	

学科	ビジネス美容科	担当教員	岩崎		
科目名	衛生管理（救急法・衛生管理）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	救急救命の処置、公衆・環境衛生の基礎、感染症、消毒の方法などを学ぶ				
授業回	学習内容				備 考
1	微生物と人との関係及び救急法の目的 【到達目標】 微生物に対する人の防衛力を理解する、傷病者の状態を観察できるようになり、必要な措置がとれるようになる。				
2	一時救命処置 【到達目標】 119番通報やAEDの手配ができ、必要な救命処置もできるようになる。基本は応援を呼ぶことを理解する。				
3	主な症状の応急手当 【到達目標】 各症状から病気を判断し、やってはいけない行動を説明できるようになる。				
4	公衆衛生の歴史・保健 【到達目標】 歴史上の人物が果たした業績を説明できる。出生率や死亡率、平均寿命など説明できるようになる。				小テスト予定
5	病原微生物学・感染症の基礎 【到達目標】 どの微生物が起こす感染症かわかり、微生物の構造等も理解し説明できるようになる。				
6	感染症 【到達目標】 感染源・感染経路・宿主の感受性を説明できるようになる、と共に法的分類とその特徴も理解する。				
7	消毒法各論 【到達目標】 各消毒法の短所・長所を理解し、消毒しようとする物品に対して適切な方法を選択できるようになる。				小テスト予定
到達目標	衛生管理を理解し、救急救命に役立てるようにする。				
評価方法	各期筆記試験（100点満点）で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。				
テキスト	日本エステティック業協会「エステティシヤンのためのサロンでの救急法・衛生・消毒」				

学科	ビジネス美容科	担当教員	中野		
科目名	解剖生理学・心身生理学	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ねらい	人体のしくみ、構造と働きの基本を理解し、エステティック施術を正しく行うための基礎知識を習得する				
授業回	学習内容			備 考	
1	Lesson1 身体の基本、 人体のあらまし 1.身体の構成 2.身体的设计 3.身体を構成する物質 4.血液				
2	【到達目標】人体を構成する細胞が様々な組織や器官を構成し、互いに協力、連携しながらそれぞれの役割を果たしていることを理解する				
3	Lesson2 筋、骨格系 1.体区分 2.骨格&筋肉の基本的作用、位置				
4	【到達目標】骨・筋の構造、働きについて理解する。全身の骨・筋の位置、名称を、数を把握し説明できるようにする				
5	Lesson2 筋、骨格系 【到達目標】筋・骨格が互いに協力・連携しながら、様々な機能を果たすことについて理解する。全身の骨格を触診できるようにする			実習室利用	
6	Lesson3 神経系 1.神経細胞 2.神経の種類、神経系のあらまし、神経の構造 【到達目標】神経系の役割、脳の各名称、働き、脊髄神経とのつながりを理解する				
7	Lesson3 神経系(脳の構造と働き、自律神経の作用) 3.中枢神経 4.抹消神経 【到達目標】神経系について(脳と体のつながり)を理解する。自律神経について説明できる				
8	Lesson4 感覚 1.感覚器のあらまし 2.五感とは				
9	Lesson4 感覚 【到達目標】五感(触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚)それぞれを構成する器官とその構造を理解し、五感が全身に与える生理作用を知る				
10	Lesson5 内分泌系 1.内分泌とは 2.ホルモンとは 3.ホルモンを分泌する器官				

授業回	学習内容	備 考
11	Lesson5 内分泌系 【到達目標】 ホルモンについて知る。ホルモンを分泌するするそれぞれの器官と働き、生理作用を知る	
12	Lesson6 呼吸器系 1.外呼吸とな内呼吸 2.肺の構造働き 【到達目標】 肺の構造と働き、呼吸の仕組み（ガス交換）を知る	
13	Lesson7 循環器系 1.心臓の構造 2.血液循環 3.心臓の興奮伝達系 4.リンパ系 【到達目標】 心臓の構造について知り、心臓から血液がどのように体に循環するか説明できる。リンパ系の構成、働きについて理解する	
14	前期まとめLesson1～7 まとめプリント 【到達目標】 理解不十分な部分を把握し、自主学習につなげる	
15	前期学科試験	
16	Lesson8 消化器系 1.消化器系（口腔から肛門まで）それぞれの構造と働き	
17	【到達目標】 口から入った食物がどのように消化・吸収され便として排泄されるか理解する。吸収された栄養素の貯蔵や代謝を理解する。	
18	Lesson9 泌尿器系 1.腎臓の構造 2.排尿の仕組み 【到達目標】 腎臓の構造を知り、血液が尿として排泄されるプロセスを学ぶ	
19	Lesson10 生殖器系 1.男性生殖器 2.女性生殖器 3.月経 4.妊娠・出産	
20	【到達目標】 男女それぞれの生殖器の位置、構造、働きを知る。月経のメカニズム、妊娠・出産までの過程について理解する	
21	後期解剖生理学まとめ（Lesson8～10）、解剖生理学総まとめ シデスコ問題集・解答解説 【到達目標】 シデスコレベルに達していない部分の補足を行い理解を深める	
22	Lesson2 生命の適応進化の歴史 Lesson3 脳の誕生と進化	ここより 心身生理学

授業回	学習内容	備 考
23	【到達目標】生命の誕生からヒトの起源、脳、ホメオスタシスを構成する自律神経、内分泌系、免疫系について説明できる	
24	Lesson4 免疫系 1、免疫とは 2、免疫の異常 【到達目標】免疫に関係する血液成分の働きの復習も行い、理解を深める	
25	Lesson5 ストレス 1.ストレスとは 2.ストレスとホメオスタシス 3.ストレスと病気 4.ストレスマネジメント	
26	【到達目標】ストレスの状態について説明できる。ストレスが加わることによる生体防御機能について説明できる	
27	Chapter17 心と肥満との関わり 1.肥満の要因 2.小児期の肥満 3.思春期の肥満 4.女性の肥満	
28	【到達目標】肥満の要因（食生活、運動、心理的要因、内分泌異常、遺伝）について理解する	
39	Chapter18 スキンタッチの効果 1.皮膚刺激の伝導と仕組み 2.手の皮膚感覚 3.スキンタッチの重要性 【到達目標】皮膚の役割の復習、皮膚と脳のつながりを理解しエステティシャンという仕事をより深く考える	
30	後期学科試験	
到達目標	人体の基本構造や働きを理解し、エステティックサービスが正しく、効果的に、かつ安全に行えるようにする	
評価方法	各期筆記試験（100点満点）で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。また、定期的実施する小テストの成績も評価に加味する。	
テキスト	エステティック協会：新エステティック学 理論編Ⅰ 問題集 エステティック業協会：解剖生理学 心身生理学 問題集	

学科	ビジネス美容科	担当教員	岡部		
科目名	運動生理学	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ねらい	当該科目の内容を理解し知識を高めることで、業務に役立つ能力を身に着ける				
授業回	学習内容			備 考	
1	【Lesson1 運動生理学とは】 1. 運動の必要性2. 運動の効果3. 筋肉について4. 筋収縮にエネルギー5. 呼吸・心臓と運動6. 血液と運動 【到達目標】 運動と美容・健康についての効果を理解する。運動生理学が美容や健康、プロポーションを作る為にどのような効果があるのか、現場に出た時にクライアントにしっかりと説明できる			プリント配布	
2	【Lesson2 運動とアンチエイジング】 1. 筋肉と老化2. 呼吸・心臓と老化3. 骨・関節と老化4. メタボリックシンドローム5. ストレスと運動 【到達目標】 老化による身体の機能を理解し、運動を行うことで身体にどのような変化があるか理解する。 年齢が上がるにつれ運動の重要性やを理解する。 運動と生活習慣病についても理解する。			プリント配布 小テスト	
3	【Lesson3 運動と代謝】 1. エネルギー代謝とは2. 糖質と代謝3. 脂質と代謝4. タンパク質と代謝 5. 基礎代謝と運動6. 消費カロリー 【到達目標】 代謝のついてや代謝の種類を理解する。 各栄養素の仕組みと運動の連動性を理解する。 代謝と運動についての関わりを理解する。			プリント配布 小テスト	
4	【Lesson4 運動プログラム】 1. 運動プログラムの作り方2. 運動の種類3. 運動・トレーニングの原則4. 運動の強度5. 運動の持続時間・頻度6. 運動と消費カロリー 【到達目標】 運動の種類や効果、原則を理解しクライアントの悩みによってどの運動が効果あるのか伝えることができる。 また運動の強度や頻度を理論的に説明できる			プリント配布 小テスト	
5	【Lesson5 姿勢・ポジション】 1. 姿勢の維持2. 動作と姿勢の関係 【到達目標】 良い姿勢の定義をしっかりと理解し、姿勢に関わる大まかな筋肉を理解できている。 それを理解しクライアントに伝えることができ、どの筋肉を鍛えてあげると美しい姿勢になるか理解できている状態。 大まかな筋肉の役割を理解している状態。			プリント配布 小テスト	

授業回	学習内容	備 考
6	【Lesson6 運動の実際】 1. ウォーキング2. ストレッチの効果 【到達目標】 ウォーキングを行うことでどのような効果を得られるか、また正しいウォーキングを理解しクライアントに伝えることができる。 ストレッチをすることで身体にどのような効果があるかを理解し、ストレッチのポイントなどをクライアントに伝えることができている状態。	プリント配布 小テスト
7	【Point Check】 運動生理学のまとめ これまでに学んできた事を理解できているか復習、また問題を出して理解度をチェックする。	プリント配布 小テスト
8	後期学科試験	
到達目標	運動生理学の基本知識を学び、理論的にお客様の施術過程を計画することができる	
評価方法	各期末筆記試験（100点満点）で評価する。なお、所定授業時間数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。また、小テストは20点満点中12点を合格とする	
テキスト	新エステティック学理論Ⅱ、運動生理学（日本エステティック協会テキスト）、日本エステティック業協会テキスト、エステティシャンセンター試験問題集、AEA認定資格例題集	

学科	ビジネス美容科	担当教員	中塚		
科目名	皮膚科学	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ねらい	エステティシャンとして直接触れる皮膚の構造や働き、生体における役割を学習し、様々な皮膚状態やそれらに影響する要因を理解することで、お客様に適切なスキンケアを提供できるようにする				
授業回	学習内容			備 考	
1	新エステティック学 理論編 I Lesson 1 皮膚の基本知識① 1.生体における皮膚の役割 2.皮膚の構造と働き：(1)面積・重さ(2)表面構造(3)厚さと大まかな構造 (4)表皮 【到達目標】 ①皮膚が生理解剖学的にどのような役割をしているのか ②皮膚の広さ、重さはどれ位で、表面の構造はどのようになっているか ③皮膚の厚さと大まかな構造（断面）はどのようになっているか ④表皮はどのような構造になっているか 上記4点を簡単に説明ができるようになる				
2	新エステティック学 理論編 I Lesson 1 皮膚の基本知識② 2.皮膚の構造と働き：(5)表皮の付属器官 (6)真皮 (7)皮下組織 【到達目標】 表皮の付属器官、真皮、皮下組織の構造と働きはどのようなものを理解し、皮膚の断面の構造を図示して説明ができるようになる			小テスト実施	
3	AEA教本 Chapter 2 皮膚の生理機能 保護作用、保湿作用、感覚作用、体温調節作用、分泌・排泄作用、貯蔵作用、ビタミンD生成作用、吸収作用 【到達目標】 皮膚の保護作用、保湿作用、感覚作用、体温調節作用、皮膚の分泌・排泄作用、貯蔵作用、ビタミンD生成作用、吸収作用について簡潔に説明できるようになる			小テスト実施	
4	新エステティック学 理論編 I Lesson 2 美容上大切な皮膚の6つの働き① 1.皮脂膜 2.角質層バリア 3.表皮ターンオーバー 4.メラノサイトの働き① 【到達目標】 ①肌バリアの1つである皮脂膜とはどのようなものか ②角質層バリアはどのような仕組みをしているのか ③皮膚の生まれ変わるサイクルが美肌にどうかかわっているのか ④メラノサイトとはどのようなものか 上記4点が説明でき、基礎的なお手入れアドバイスができるようになる				
5	新エステティック学 理論編 I Lesson 2 美容上大切な皮膚の6つの働き② 4.メラノサイトの働き② 5.毛細血管の働き 6.線維芽細胞 7.皮膚の働きのバランス 【到達目標】 メラノサイトの役割、毛細血管の働き、真皮に存在する線維芽細胞の働き、皮膚の各働きのバランスについて、簡潔に説明できるようになる			小テスト実施	

授業回	学習内容	備 考
6	新エステティック学 理論編 I Lesson 3 肌の美しさを損ねる要因① 1.紫外線 2.寒気 3.乾燥 4.加齢 【到達目標】 ①紫外線の作用・種類・肌の日焼け反応はどういうものか ②寒気や乾燥による肌の状態はどういうものか ③加齢による老化が肌に及ぼす影響とはどのようなものか について理解することでケアアドバイスができるようになる	
7	新エステティック学 理論編 I Lesson 3 肌の美しさを損ねる要因② 5.女性のリズム (1)月経 (2)妊娠 (3)更年期 【到達目標】 ①生理解剖学からみた月経・妊娠・更年期とはどういうことか ②女性ホルモンが肌に及ぼす影響とはどういうものか 上記2点を理解した上で、施術やアドバイスができるようになる	
8	新エステティック学 理論編 I Lesson 3 肌の美しさを損ねる要因③ 6.精神的ストレス 7.胃腸の不調 8.生活習慣 【到達目標】 ①自律神経系の働きと肌への影響 ②消化器系の機能と胃腸の不調が及ぼす肌への影響 ③生活習慣(偏食・嗜好品・運動不足・睡眠不足など)が及ぼす肌への影響 自律神経系、消化器系、生活習慣の肌への影響について理解することで、専門的なアドバイスができるようになる 前期授業のまとめと前期期末試験対策(模擬試験)	小テスト実施
9	新エステティック学 理論編 I Lesson 4 さまざまな肌状態① 1.肌意識の年代変化 2.美しい肌 【到達目標】 ①肌悩みの年代変化と美しい肌イメージと肌悩みの関連について理解する ②美しい肌の条件と肌診断の基本となる4つの肌タイプについて理解することで、お客様に合ったお肌ケアをアドバイスできるようになる	
10	新エステティック学 理論編 I Lesson 4 さまざまな肌状態② 3.衰えた肌 (1)衰えた肌の状態 (2)肌を衰えさせる要因 (3)衰えた肌のケアポイント ・年代別の肌状態・シワとたるみ・肌の色の年代変化 【到達目標】 衰えた肌の状態はどういうものか、内的・外的・精神的要因やシワ・たるみの原因と対策はどのようなものがあるのかを理解することにより衰えた肌のケアポイントについてアドバイスできるようになる	
11	新エステティック学 理論編 I Lesson 4 さまざまな肌状態③ 4.色素沈着を起こした肌 (1)シミ部位の肌の状態 (2)シミができる要因 (3)日焼けのプロセスにおける肌の状態変化と総合的な美白ケアポイント (4)紫外線防止効果 ・シミの仲間 【到達目標】 シミ肌の状態はどういうものか、シミの原因と対策はどのようなものがあるのかについて理解することにより、シミ対策のアドバイスができるようになる	

授業回	学習内容	備 考
12	新エステティック学 理論編Ⅰ Lesson 4 ささまざまな肌状態④ 5.ニキビ (1)ニキビの状態(2)ニキビができる要因(3)ニキビ肌のケアポイント 6.肌荒れと敏感 (1)肌荒れ・敏感肌の状態(2)炎症をおこす要因(3)肌荒れ・敏感肌のケアポイント 【到達目標】 ①ニキビとはどういうものか、発生過程・原因・対策はどのようなものかを理解することで、適切なケアや栄養面のアドバイスができるようになる ②肌荒れと敏感肌の違いはということか、炎症を起こす要因とケアポイントはどんな方法があるのかを理解し、的確なアドバイスと施術の選択ができるようになる	小テスト実施
13	AEA教本 Chapter 5 トラブル肌と皮膚疾患 【到達目標】 エステティックに関連するトラブル肌・皮膚疾患（発疹、ニキビ、敏感肌、接触皮膚炎、アレルギー疾患、アトピー性皮膚炎など）について理解する	
14	新エステティック学 理論編Ⅰ Lesson 5 肌と環境 1.肌と地域気候・季節と保湿ケア 2.肌と気象の季節区分 【到達目標】 肌と地域気候、肌と気象の季節区分に応じたエステティック施術とお肌ケアをアドバイスできるようになる	小テスト実施
15	新エステティック学 理論編Ⅰ Lesson 6 肌分析 1.目的 2.考慮すべきポイント 3.肌質チェック項目 4.肌タイプ 【到達目標】 基本となる肌タイプについて理解し、実技で行なうコンサルテーションの内容を項目毎に把握し、組み立てられるようになる 後期授業のまとめと後期期末試験対策（模擬試験）	小テスト実施
到達目標	皮膚の構造や働き、生体における役割を学習し理解することで、お客様に適切なスキンケアを提供できるようになり、卒業後に進む美容業界で即戦力となる知識を習得する	
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。また、定期的実施する小テストの成績も評価に加味する	
テキスト	日本エステティック協会 教本 新エステティック学 理論編Ⅰ 日本エステティック業協会(AEA) 教本 エステティシヤンのための皮膚科学	

学科	ビジネス美容科	担当教員	久光		
科目名	エステティック電気・機器学	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	エステティックの施術に必要な各種美容機器の動作原理の理解に必要な知識、安全に使用する ために必要な知識の習得を目標とする				
授業回	学習内容			備 考	
1	電気とは1 【到達目標】電気の性質を水の流れと対比して理解し、電流。電圧、抵抗の意 味と関係性を学ぶ。				
2	電気とは2 【到達目標】電流が、原子を構成する電子の移動のことであることを理解す る。また、電子の移動が起きやすい物質と化学結合の関係を知る				
3	電気の種類 【到達目標】電気の種類として静電気と動電気という大分類と、動電気の中に 直流と交流があることを理解する☒				
4	電気の三大作用(磁気作用) 【到達目標】電流によって磁場が発生し、磁場によって電流が発生する現象を 知り、発電機が交流電流を作る様子やスマホの無線充電、電子マネーなどIC カードが動くしくみなどの応用例と紐づけて理解する				
5	電気の三大作用(熱作用) 【到達目標】電流によって熱が発生する現象について理解し、エステティック 機器や日常生活の電気製品での利用例を一緒に理解する				
6	電気の三大作用(化学作用) 【到達目標】電流によって電波が発生する現象、電流によってイオン化合物が 分解される現象について理解し、エステティック機器や日常生活の電気製品で の利用例を一緒に理解する				
7	電気による美容作用 【到達目標】人体も導体であることを理解する。人体が導体であることを利用 して人体に電気を流すこととそれによる美容効果との関係を知る				
8	学科試験				
到達目標	電気の存在をイメージできる。電流の三大作用を、日常生活での具体的利用例とセットで理解 できる。電流が人体に及ぼす美容効果についてその原理とともに理解できる。				
評価方法	各期筆記試験（100点満点）と小テストの合計点で評価する。なお、所定授業時数（全体の 2/3）を下回る学生は受験することができない。				
テキスト	エステティック電気学（日本エステティック業協会）				

学科	ビジネス美容科	担当教員	齋藤		
科目名	栄養学	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ねらい	食物の栄養素と健康の関係を学ぶことで、エステティック施術に役立つアドバイスができるようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①健康に生きるために必要な基礎知識②代謝のしくみ③基礎代謝量と摂取エネルギー④食の安全性 上記のことを習得することで体と食物の関係を理解し、個人にあった体重管理が行えるようになる。また、食の安全面の基本的な考え方を理解する			PC、プロジェクター	
2	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①5大栄養素とその働き②タンパク質の働き 上記のことを習得することでタンパク質の働きをお客様に伝えられるようになる			PC、プロジェクター	
3	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①脂質の種類とその働き②効果的な摂り方 上記のことを習得することで脂質の働きをお客様に伝えられるとともに食生活の提案ができるようになる。			PC、プロジェクター	
4	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①糖質の種類と働き②血糖値との関係③新しい甘味料④効果的な摂り方 上記のことを習得することで糖質の働きをお客様に伝えられるとともに新しい食生活の提案ができるようになる。			PC、プロジェクター	
5	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①食物繊維の種類とその働き②胃袋日記(食事日記)チェック 上記のことを習得することで私たちが食べている3大栄養素を身近に感じ、自分の食生活の特徴を理解し、アドバイスに生かすことができる。			PC、プロジェクター	
6	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①ビタミンの種類とその働き 上記のことを習得することでビタミンの働きをお客様に伝えられるとともに新しい食生活の提案ができるようになる。			PC、プロジェクター	
7	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①ビタミン様物質の種類とその働き②ミネラルの種類・その働き 上記のことを習得することでミネラルの働きをお客様に伝えられるとともに新しい食生活の提案ができるようになる。			PC、プロジェクター	
8	健康と栄養 【到達目標】 ①食品の機能性成分の種類とその働き 上記のことを習得し、主に植物に含まれているパワーを理解することで目的を持った食生活を送れるようお客様に提案できるようになる			PC、プロジェクター	

授業回	学習内容	備 考
9	健康と栄養 【到達目標】6つの基礎食品群の特徴とその働き②一汁三菜とバランスのよい食事の関係③食生活と体のリズム④食生活指針 上記のことを習得し、お客様に食生活をふり返ってもらえることを目指す	PC、プロジェクター
10	健康と栄養 【到達目標】①食事摂取基準②生活習慣病と食生活③太るということ 上記のことを習得し、肥満の原因を見つけ出し、具体的な食生活の提案ができるようになる	PC、プロジェクター
11	健康と栄養 【到達目標】①食生活と体調②食生活と健康美 様々な肌トラブルの原因とその対策を理解することでお客様に応じたアドバイスができるようになる	PC、プロジェクター
12	健康と栄養 【到達目標】①食生活と女性の健康 女性ホルモンの乱れ、貧血、便秘、冷え性の原因とその対策を理解することでそのお客様に応じたアドバイスができるようになる	PC、プロジェクター
13	健康と栄養 総まとめ 【到達目標】①健康食品②アドバイスワーク（4コマ漫画） 健康と栄養をふり返ることでお客様の食生活の問題点を見つけ出し、4コマ漫画にまとめることでコンパクトで分かりやすい説明とはなにかをつかみ取る	PC、プロジェクター
14	総まとめ 【到達目標】①アドバイスワーク②ふり返りテスト お客様の食生活の問題点を見つけ出し、具体的な食生活の提案ができるようになる。また今までの内容の理解度をテストを通して確認する	PC、プロジェクター
15	総まとめ 【到達目標】①アドバイスワーク②学科試験 アドバイスとは何かをふり返る	PC、プロジェクター
到達目標	食べ物に含まれる栄養素の作用を理論をもってお客様に説明し、アドバイスに活かせるようになる	
評価方法	各期筆記試験（100点満点）と小テストの合計点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。	
テキスト	エステティシンのための栄養学（日本エステティック業協会）	

学科	ビジネス美容科	担当教員	久光		
科目名	化粧品学(化粧品に関する商品知識)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	24
教育目標・ねらい	施術での使用や販売において必要な化粧品に関わる法律、化粧品を構成する成分、化粧品の役割や種類についての知識を習得する。				
授業回	学習内容			備 考	
1	法規、分類、水性成分 【到達目標】 医薬品医療機器等法における化粧品、医薬部外品の定義、化粧品の効果効能、全成分表示のルール、化粧品の分類、化粧品成分の主な役割分類、さまざまな化粧品の中身構成、水性原料（水、エタノール、保湿剤）の役割と覚えておくべき有名な成分の名前がわかる				
2	化粧水、法規、界面活性剤 【到達目標】 化粧水が水性原料によって設計されていること、一般的な品質保証および化粧品の品質の詳細、界面活性剤の役割と種類および覚えておくべき有名な成分の名前がわかる				
3	界面活性剤型洗浄料 【到達目標】 界面活性剤型洗浄料が汚れを落とす仕組み、界面活性剤型洗浄料が界面活性剤と水性原料の組み合わせによって設計されていること、固形石鹸、洗顔フォーム、ボディソープ、ヘアシャンプーそれぞれでよく使われる界面活性剤の種類や成分の名前、なぜその成分が使われるのかがわかる				
4	油性成分 【到達目標】 油性原料の役割と種類と種類ごとに覚えておくべき成分の名前がわかる				
5	溶剤型洗浄料、乳化、乳化物 【到達目標】 溶剤型洗浄料が汚れを落とす仕組み、界面活性剤型洗浄料との違い、溶剤型洗浄料の種類(クレンジングオイル、クレンジングクリーム)、クレンジングオイルでよく使われる有名な油性原料の名前、乳化と乳化的種類、乳液・クリームの役割、乳化物を作るのによく使われる界面活性剤の種類や成分の名前、油性成分の種類や名前がわかる				
6	紫外線と日焼け止め、着色剤 【到達目標】 紫外線とはなにか、紫外線を防ぐ成分の種類と覚えておくべき有名な成分の名前、日焼け止め製品の性能(SPF、PA)、化粧品における着色剤の役割、着色剤の種類と覚えておくべき有名な成分の名前がわかる				

授業回	学習内容	備 考
7	メイク化粧品 【到達目標】 メイク化粧品の分類、ベースメイクの種類（ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー）と役割と主な成分、ポイントメイクの種類（アイブロー、アイカラー、アイライナー、マスカラ、口紅、ネイル）と役割と覚えておくべき有名な成分がわかる	
8	美容成分、有効成分 【到達目標】 紫外線防御、美白、抗炎症、抗酸化、引き締め・収れん・制汗、角質溶解、洗浄力向上、肌荒れ改善、創傷治癒など美容成分・有効成分の主な種類と覚えておくべき有名な成分の名称がわかる	
9	香料、フレグランス化粧品 【到達目標】 香料の種類、フレグランス化粧品の分類、香り立ちの時間分類と種類、フレグランス化粧品の使い方がわかる	
10	品質保持剤 【到達目標】 品質保持剤（増粘、酸化防止、紫外線防止、金属イオン封鎖、防腐、アルカリ）の種類と覚えておくべき有名な成分の名称がわかる	
11	その他化粧品、化粧品による肌トラブル 【到達目標】 制汗・防臭化粧品、脱毛料、浴用剤、パック料、マッサージ料、スリミング化粧品などエステと関連深い化粧品の種類と重要な成分の名称、化粧品による肌	
12	学科試験	
到達目標	どのような法律のもとで化粧品の製造販売が行われているか、化粧品成分のさまざまな役割と代表的な成分名、化粧品の種類や用途を理解し、接客の場において活用できる。	
評価方法	各期筆記試験（100点満点）と小テストの合計点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。	
テキスト	フェイシャル実技理論 化粧品学、新エステティック学 理論編II、化粧品成分ガイド	

学科	ビジネス美容科	担当教員	久光		
科目名	化粧品学（化粧品の製法と実験）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選 択の別	必修	授業時間 （単位）	6
教育目標・ ねらい	スキンケア化粧品を実際に作ることで、化粧品学で学んださまざまなスキンケア化粧品の設計 についての理解を深める				
授業回	学習内容			備 考	
1	化粧品、クレンジングオイル、乳液、クリームを作る 【到達目標】 化粧品を実際に自分で作ることで化粧品学で学んだ設計をより深く理解する				
到達目標	化粧品を実際に自分で作ることで化粧品学で学んだ設計をより深く理解する。				
評価方法	実験内容の記録、作った化粧品の評価を記したノートの提出により100点満点で評価する。な お、所定授業時数（全体の4/5）を下回る出席者は評価対象としない。				
テキスト	配布プリント				

学科	ビジネス美容科	担当教員	橋本		
科目名	エステティック運営管理（経営学）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選 択の別	必修	授業時間 （単位）	15
教育目標・ ねらい	美容サロンの経営に関する知識を理解し、事業計画を作成できるようになる。				
授業回	学習内容				備 考
1	経営学とは 経営学と日常生活 ドラッカーの「マネジメント」解説 【到達目標】経営学を学ぶ意義、マーケティングとイノベーションについて理解する				
2	ドラッカーの「マネジメント」内容の実例、経営戦略の考え方 情報収集や分析の方法 【到達目標】戦略策定フローを理解する				
3	市場の捉え方、マーケティング戦略、マーケティングの4つの要素を理解し、標的顧客に合わせた4つのPを組み立てられる				
4	売上向上策 客単価と客数 営業利益向上策 費用と利益 【到達目標】店舗で売上や利益をあげるために何をすべきかを理解する				
5	経営の数字（損益計算書、損益分岐点など） 【到達目標】損益計算ができる 損益分岐点の計算ができる				
6	ストアコンセプトと営業内容 【到達目標】ストアコンセプトとは何かを理解し、ストアコンセプトに合わせた営業内容を考えることができる				
7	スチューデントサロン計画作成の解説、演習、発表 【到達目標】スチューデントサロンの経営計画を作成し、発表する				
8	学科試験				
到達目標	スチューデントサロンの運営計画を数値計画を含めて立案できるようになる。				
評価方法	各期筆記試験（100点満点）と提出課題により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は25年近い経営コンサルタントとしての豊富な実務経験から、実践的なサロン運営の基礎知識を伝える				

学科	ビジネス美容科	担当教員	井川		
科目名	エステティック運営管理 (広報・広告)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	マーケティング活動における広告の基本知識を学び、美容業界における広告戦略の考え方や効果的な広告の表現方法を学ぶ。またサロンのサイトを作成し、見込み客から従来のアナログ広告とデジタル広告を対比させながら各媒体の特徴と活用方法を解説する。 特にコンテンツマーケティングについて深く掘り下げ、効果的なランディングページの作り方を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	広告の概要について 【到達目標】 ・ 広告と広報の違いについて説明できる ・ 美容業界、エステ市場のデータを把握する ・ 顧客に合わせた適切なアプローチ方法を理解する ・ マーケティングの知識が深まり販売戦略を立てる ・ USPについて説明ができる			・ 参考資料 東京経済「業界地図」 ホットペーパー・アカデミー「美容業界データ」、アンデッシュ・ハンセン「スマホ脳」、帝国データバンク「景気業界動向」	
2	デジタル化とコンテンツマーケティングについて 【到達目標】 ・ デジタル化が社会、美容業界にもたらす影響について説明できる ・ オンラインコミュニケーションの必要性和各SNSの特徴を知る ・ コンテンツマーケティングについて理解する。 ・ 今後の美容、エステ業界で求められるスキルについて理解する。 ・ ユーザー別に適切なアプローチ手段を取りうることができる			・ 参考資料 ロジャードゥーリー「脳科学マーケティング」、ドルー・エリック・ホイットマン「現代広告心理技術」	
3	コピー・ライティングについて 【到達目標】 ・ 製品やサービスの特徴を魅力的に伝えることができる。 ・ ターゲットに合わせた効果的な伝え方を理解する ・ キャッチコピー、セールスライティング技術を身に着ける ・ 脳科学マーケティングについて興味・関心を持つことができる ・ 潜在的な顧客に対して購入を促すことができるようになる。			・ 参考資料 ジョン・ケープルズ「ザ・コピーライティング」	
4	ホームページ作成 (CMS) ・ CMSを使った専用サイトが作れるようになる ・ 基本的なデザイン、レイアウトの知識が身に付く ・ アクセス解析について理解し説明ができる ・ サロンのランディングページの作り方がわかる ・ ネット販売の知識が身に付く ・ 申し込みフォームが作れる			・ 参考資料 ドルー・エリック・ホイットマン「現代広告心理技術」 ・ 使用アプリ WordPress、Google Analytics	

授業回	学習内容	備 考
5	office操作スキルとデータ分析について 【到達目標】 Wordで見栄えの良いレポートが作れるようになる PowerPointで効果的なスライドが作れる googlesiteをで来客実習用のサイトが作れる ネット用の申し込みフォームを作り、サイトに埋め込む 顧客リストデータをインポート、Excelピボットテーブルで分析できる	・使用アプリ PowerPoint、 googlesite、 Excel、word、etc.
到達目標	①マーケティングと広告に関心を持つことで、人の心理を理解し、適切なコミュニケーション手段をとることができるようになる ②DX化に向け、これからの社会で必要なスキルを身に着けることができる。 ③コピーライティングのスキルを身に着けることで、発信力が身につく。	
評価方法	学生には毎回授業終了時に行うオンラインテスト確認テストにより評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	教材：配布資料（毎回A4、2頁）、特設サイトにアップロード前日にメールで送信	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	エステティックカウンセリング	学 年	1年	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ねらい	お客様の要望に応える為に、カウンセリングで行う情報収集の重要性を理解する。また施術計画を立てるだけでなく、お客様の心理的变化に気づき寄り添える対応力を養う				
授業回	学習内容			備 考	
1	【カウンセリング概論】 1. エステティックにおけるカウンセリングの定義 2. カウンセリングとは 3. 心の仕組み 【到達目標】 カウンセリングとはお客様の悩みや要望を把握することであることを学び、施術計画・効果を左右する重要なものである事を理解する				
2	【カウンセリングの基本】 1. 心理的なカウンセリングとの違い 2. 顧客心理 3. カウンセリングの基本姿勢 【到達目標】 エステティックサロンにおけるカウンセリングと、心理的なカウンセリングの違いを理解する。またお客様の願望に応えるエステティシアン的心構えを理解し、お客様に寄り添ってカウンセリングを行くことを修得する。				
3	【エステティックカウンセリングの実践】 1. 施術前のカウンセリング 2. 施術中のカウンセリング 3. 施術後のカウンセリング 【到達目標】 コンサルテーションシートを活用し、最適な施術計画を行う為にさまざまな視点から情報を確認し、使用商材・機器の選択とホームケアアドバイスの重要性を理解出来る				
4	【エステティックカウンセリングの実践】 4. カウンセリングを行う環境条件 5. コンサルテーションシートの活用 【到達目標】 カウンセリング時のエステティシアンとしてのマナーやお客様への配慮を学び、コンサルテーションシートに必要な項目を理解し実践で応用対応が出来るようになる				

授業回	学習内容	備 考
5	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション演習】フェイシャル 1. 項目の確認 2. シート記入の仕方 3. 施術計画の立て方 【到達目標】実際のお客様の施術計画を立て、理論的に効果が出る事を説明することが出来る	
6	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション演習】ボディ 1. 項目の確認 2. シート記入の仕方 3. 施術計画の立て方 【到達目標】実際のお客様の施術計画を立て、理論的に効果が出る事を説明することが出来る	
7	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション演習】メイク・ネイル 1. 項目の確認 2. シート記入の仕方 3. 施術計画の立て方 【到達目標】実際のお客様の施術計画を立て、理論的に効果が出る事を説明することが出来る	
8	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション演習】脱毛 1. 項目の確認 2. シート記入の仕方 3. 施術計画の立て方 【到達目標】実際のお客様の施術計画を立て、理論的に効果が出る事を説明することが出来る	
到達目標	カウンセリングの基本的な考え方や対応力を身に付け、コンサルテーションシートの記入を行うことが出来る。また施術計画を立てる際、お客様の心身の状態を考慮した内容に変更する応用力も身につけている	
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	AEAエステティックカウンセリングテキスト シデスコマニュアルテキスト 配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	エステティック技術理論 (フェイシャル)	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	エステティック技術の基本的な流れや工程の目的、手法、効果・禁忌事項について理解する。また、電気機器の基礎を学びイオン導入の作用を理解し、説明と実践が行えるようにする				
授業回	学習内容				備 考
1	フェイシャルエステティックの目的と効果 1. 目的 2. 効果 事前準備とカウンセリング 1. 事前準備 2. ビフォーカウンセリング 3. カウンセ リング後のトリートメント準備 【到達目標】フェイシャルエステティックの目的と効果について理解をする。 事前準備の必要性を理解し、お客様へ安全に施術を行う為に施術前後のカウン セリングで確認する事項を理解する。				
2	フェイシャルトリートメント 1. クレンジング 2. スチームタオル 3. 施術中のカ ウンセリング(皮膚の観察) 4. ディープクレンジング 5. マッサージ 6. パックマス ク 7. 仕上げ 8. アフターカウンセリング 【到達目標】各工程の目的と手法について理解する。				
	基本手技マッサージ理論 【到達目標】フェイシャルマッサージの目的や基本6手技の種類と効果・作用 を理解する。				
3	【電気機器】1. 電気機器を使用したお手入れ 2. スキンチェック 3. ディープクレン ジング 【到達目標】ハンドケアと組み合わせて行う機器トリートメントについて理解 をする。機器の種類と目的・禁忌事項を確認し、正確で安全に機器を使用出来 るようにする。 ディープクレンジングの手法の種類を理解し、角質肥厚の状況によって手技・ 商材を選択できるようになる。				
4	シデスコ対応イオン導入・デイスインクラステーション理論 【到達目標】直流電流の仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上 の注意・禁忌事項を理解し説明と施術が出来るようになる				※ 小テスト
到達目標	エステティックの基礎知識を学び、施術工程の意味を理解することが出来る。また、お客様の 用途によって商材や手技・機器の使い分けの技術が行う事が出来る。。				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3) を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト シデスコマニュアルテキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有す るサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	エステティック技術理論 (フェイシャル)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	美容電気機器の仕組みを理解し、施術工程を組み立てる際に選択肢の幅を広げる事を目的とする。また、最新の美容機器理論を学び、時代のニーズに沿った施術内容を行えるようにする。				
授業回	学習内容				備 考
1	シデスコ対応パック・マスク理論 【到達目標】肌分析に応じトラブルを改善するために商材の特性や成分の効能を学ぶ。お客様の悩みによって、商材を選別できる知識・手技を取得する				※ 小テスト
2	電気機器 5. 高周波 【シデスコ対応高周波機器実技理論】 【到達目標】高周波機器の分子の動きと。電気エネルギーの力による生体作用の原理を理解し、機器の使い方を取得する。また、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態によって機器の選択が出来るようになる。				※ 小テスト
3	電気機器 6.超音波 【シデスコ対応超音波実技理論】 【到達目標】超音波の音波の仕組みを理解し、生体作用を理解する。超音波の機器の種類を知り、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態によって機器の選択が出来るようになる				※ 小テスト
4	電気機器 4. パター 【シデスコ対応パター技術理論】 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意・禁忌事項を理解し、説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態によって機器の選択が出来るようになる。				※ 小テスト
到達目標	お客様の肌分析に基づき、機器や商材の選択を自ら行い施術効果を出すことが出来る				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト シデスコマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	エステティック技術理論（ボディ）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	エステティック技術の基本的な流れや工程の目的・手法・効果・禁忌事項について理解する。また、電気機器の基礎を学びイオン導入の作用を理解し、説明と実践が行えるようにする				
授業回	学習内容			備 考	
1	ボディエステティックの目的と効果 1. 目的 2. 効果 事前準備とカウンセリング 1. 事前準備 2. ビフォーカウンセリング 3. カウンセリング後のトリートメント準備 【到達目標】 ボディエステティックの目的と効果について理解をする。 事前準備の必要性を理解し、お客様へ安全に施術を行う為に施術前後のカウンセリングで確認する事項を理解する。			※ 小テスト	
2	ボディトリートメント 1. ボディ観察 2. 温浴 3. ディープクレンジング 4. 電気機器 5. マッサージ 6. パック・マスク 7. 仕上げ 8. アフターカウンセリング 【到達目標】 各工程の目的と手法について理解する。			※ 小テスト	
	【基本手技マッサージ理論】 【到達目標】 ボディマッサージの目的や基本 6 手技の種類と効果・作用を理解する。			※ 小テスト	
3	【電気機器】 1. 電気機器を使用したお手入れ 2. ボディチェック 3. ディープクレンジング 【到達目標】 ハンドケアと組み合わせて行う機器トリートメントについて理解をする。機器の種類と目的・禁忌事項を確認し、正確で安全に機器を使用出来るようにする。 ディープクレンジングの手法の種類を理解し、角質肥厚の状況によって手技・商材を選択できるようになる。			※ 小テスト	
4	シデスコ対応ボディガルバニック理論 【到達目標】 直流電流トリートメントの仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意・禁忌事項を理解し説明と施術が出来るようになる。			※ 小テスト	
到達目標	エステティックの基礎知識を学び、施術工程の意味を理解することが出来る。また、お客様の用途によって商材や手技・機器の使い分けの技術が行う事が出来る。。				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学—技術編Ⅰ AEAボディ実技理論 シデスコマニュアルテキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	エステティック技術理論（ボディ）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	美容電気機器の仕組みを理解し、施術工程を組み立てる際に選択肢の幅を広げる事を目的とする。また、最新の美容機器理論を学び、時代のニーズに沿った施術内容を行えるようにする。				
授業回	学習内容				備 考
1	電気機器 4. ボディサクション 【シデスコ対応ボディサクション技術理論】 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意・禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態により機器の選択が出来るようになる。				※ 小テスト
2	電気機器 5. バイブレーター 【シデスコ対応G5機器実技理論】 【到達目標】振動応用機器の生体作用の原理を理解し、機器の使い方を取得する。また、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意・禁忌事項を理解し、説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる。				※ 小テスト
3	電気機器 6.赤外線機器・可視光線機器・保温マット 【シデスコ対応プレートメント理論】 【到達目標】各光線の仕組みと保温マットによる使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意・禁忌事項を理解し、説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる				※ 小テスト
4	シデスコ対応パック・マスク理論 【到達目標】ボディ分析に応じ症状を改善するために商材の特性や成分の効能を学ぶ。お客様の悩みによって、商材を選別できる知識・手技を取得する				※ 小テスト
5	来客実習対応化粧品理論 【到達目標】さまざまなお客様の体の状況に対し、商材を選択出来るよう成分・効能・使用用途の知識を学び効果を出すことが出来る。				
到達目標	お客様のボディ分析に基づき、機器や商材の選択を自ら行い施術効果を出すことが出来る				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAボディ実技理論 スコマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント				シデ
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	石川		
科目名	エステティック技術理論(色彩学)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ねらい	AFT色彩検定3級の内容を通して、色彩に対する興味と理解を深め、将来の職業に役に立つ色彩の知識とセンスを修得する。				
授業回	学習内容			備 考	
1	検定内容の説明・授業の進め方・目標設定 色彩のはたらき・カラートランプ作成 【到達目標】 ・検定の内容と授業の目的を理解し、目標を設定する ・楽しく学ぶためのカラートランプを作成する				
2	色の分類と三属性・PCCS① 【到達目標】 ・検定合格に必須となるPCCSの基本を理解する				
3	PCCS②・カラーカードを使用した色彩カードゲーム演習 【到達目標】 ・カラーカードを用いたゲームを通して、色彩を学ぶ楽しさを感じるとともに、検定合格に必要な色を見分ける能力を身につける				
4	色はなぜ見えるのか・目のしくみ・照明と色の見え方 【到達目標】 ・色が見える仕組みを理解し、色に対する興味を持つ			授業の開始時に PCCSカラーカード トレーニング実施	
5	混色、混色演習 【到達目標】 ・二つの混色の違いを理解し、混色によって色を作り出せる知識を修得する			同上	
6	色の心理的効果・心理テスト 【到達目標】 ・色が心や視覚に与える効果を知り、実践してみる。 ・色彩心理テストを通して色彩心理に対する理解を深める。			同上	
7	色の視覚効果 【到達目標】 ・色の対比と同化を理解する ・様々な視覚効果を理解する			同上	
8	配色の基本的な考え方・色相を手がかりにした配色 トーンを手がかりにした配色 【到達目標】 ・配色の基本的な考え方を理解する ・色相をもとにした配色とトーンをもとにした配色を理解する			同上	
9	色相とトーンを手がかりにした配色 配色の基本的な技法・配色イメージ 【到達目標】 ・色相とトーンを組み合わせた配色を理解する ・配色技法を理解し、日常の中から見つけられるようにする			同上	

授業回	学習内容	備 考
10	ファッションと色彩の解説・課題演習 【到達目標】 ・ファッションで活用されている色彩を事例とともに理解する ・次回行う課題発表の準備をする	同上
11	ファッションと色彩の課題発表 色名 【到達目標】 ・ファッションにおける色彩の課題発表 ・色名について理解する	同上
12	インテリアと色彩 【到達目標】 ・インテリアにおける色彩の働きについて理解する	同上
13	検定対策 【到達目標】 検定対策問題を通して、検定出題傾向に慣れるとともに身に付けた知識の確認をする	同上
14	検定対策 【到達目標】 検定対策問題を通して、検定出題傾向に慣れるとともに身に付けた知識の確認をする	同上
15	検定振り返り・答え合わせ・解説 【到達目標】 色彩検定の解答・解説を通して自身の可否を確認する	
到達目標	・ファッション等における配色の基本を身につける。 ・色彩理論を理解し、他者に伝えることができるようになる。	
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	AFT色彩検定3級公式テキスト AFTカラーカード	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	エステティック技術理論 (サロンマネジメント)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	サロン経営の基本を学び、サロン運営の心得を育てる				
授業回	学習内容			備 考	
1	エステティック業の役割 1. エステティック業の役割と責任 2. やりがいのある仕事・働きがいのある職場 【到達目標】 エステティシアン の責務を理解し、社会的責任を理解する				
	サロン運営・来客実習対応サロン運営理論① 1.サロン業務の流れ 2.サロン管理 【到達目標】 1日の業務の流れを理解し、カウンセリングやコミュニケーションの重要性を理解する。また、スチューデントサロン運営の流れの基礎を組み立てることが出来るようになる。				
2	サロン繁栄の為に顧客管理 1.サービス業としての重要ポイント 2.クレーム対応 【到達目標】 顧客満足やサロン選定の行動心理を理解し、エステティシャンとして必要な知識を修得する。また、クレームが起きる原因を理解し、改善策を立てることが出来るようになる。				
	来客実習サロン運営理論② 1. 顧客管理方法 2. 予約の取り方 3. 予約確認の行い方 【到達目標】 具体的にサロン運営を行うにあたり、方法論を議論する。				
3	サロンマネジメント 1.マネージャーが考えるべきこと 2 職業能力評価基準 【到達目標】 経営と人材育成を行う為に必要な知識を理解する。従業員満足度とは何かを理解し、サロン運営に反映させる。				
	来客実習サロン運営理論③ 1. 日報の書き方 2.在庫管理 3. 受付業務 【到達目標】 サロン運営を実際に行う為に必要な書類の書き方を学び実践する				

授業回	学習内容	備 考
4	来客実習サロン運営理論④ 1. 商品販売 2. 来店促進 3. 広報・企画 【到達目標】運営目線に立ち、売り上げを上げるためには、どのような方法があるか考え、実践に移し分析を行う	
	来客実習サロン運営理論④ ホスピタリティマインド 【到達目標】サービス提供とおもてなしの心を持ち、接客用語の基本や言葉遣い・立ち振る舞い等について理解し実践につなげる	
5	来客実習サロン運営理論④ ホスピタリティマインド 【到達目標】サービス提供とおもてなしの心を持ち、接客用語の基本や言葉遣い・立ち振る舞い等について理解し実践につなげる	
	来客実習サロン運営理論④ ホスピタリティマインド 【到達目標】サービス提供とおもてなしの心を持ち、接客用語の基本や言葉遣い・立ち振る舞い等について理解し実践につなげる	
到達目標	サロン運営の理論を学び、経営目線で物事考え主体的に行動する能力を身に着けることが出来る	
評価方法	課題提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	AEAサロンマネジメント学テキスト 来客実習マニュアルテキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習 (フェイシャル)	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選 択の別	必須	授業時間 (単位)	156
教育目標・ ねらい	① フェイシャルエステティック技術を行う環境設定を学び実践する ② 基本手技マッサージを学び、効果・目的を理解する ③ ディープクレンジングの種類を学び、商材に合わせた技法を修得す				
授業回	学習内容				備 考
1	フェイシャル基礎実技① 1.セッティングの仕方 2.消毒の仕方 3.タオル操作 4. お客様の誘導 【到達目標】お客様をお迎えする準備を行い、衛生上安全に且つお客様に好感 と信頼を持って頂く環境を整える意味を学び実践が出来る。				
2	フェイシャル基礎実技① 5.ポイントクレンジング 6.ベースクレンジング 7.ふ き取り 8.スチームタオル 【到達目標】 メイクアップ料を落とし皮膚を清潔な状態にする技術を学び、 スチームタオルの加温・湿潤効果によって血液循環を促進し次のトリートメン ト効果を高める技術が出来るようになる。				
3	フェイシャル基礎実技①復習 1.セッティングの仕方 2.消毒の仕方 3.タオル操 作 4.お客様の誘導 【到達目標】お客様をお迎えする準備を行い、衛生上安全に且つお客様に好感 と信頼を持って頂く環境を整える意味を学び実践が出来る。				
4	フェイシャル基礎実技①復習 5.ポイントクレンジング 6.ベースクレンジング 7.ふき取り 8.スチームタオル 【到達目標】 メイクアップ料を落とし皮膚を清潔な状態にする技術を学び、 スチームタオルの加温・湿潤効果によって血液循環を促進し次のトリートメン ト効果を高める技術が出来るようになる。				
5	フェイシャル基礎実技演習①復習 1.セッティングの仕方 2.消毒の仕方 3.タ オル操作 4.お客様の誘導 5.ポイントクレンジング 6.ベースクレンジング 7.ふ き取り 8.スチームタオル 【到達目標】技術演習をこなうにあたり、クレンジングまでの技術を正確に時 間通り行うことが出来るようになる				
6～8	フェイシャル基礎実技②演習 基本手技マッサージ(マッサージ料塗布の仕方・ 軽擦法・強擦法) 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来 るようになる。				
9～11	フェイシャル基礎実技演習②演習 基本手技マッサージ(マッサージ料塗布の仕 方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法) 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来 るようになる。				
12	フェイシャル基礎実技③ ディープクレンジング(粒子あり・粒子無し) 【到達目標】 古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブル に合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。				

授業回	学習内容	備 考
13	フェイシャル基礎実技③ デイープクレンジング(フリマツール・スチーマー・酵素・スクイズ・吸引) 【到達目標】 古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。	
14	フェイシャル基礎実技演習③ デイープクレンジング(粒子あり・粒子無し・フリマツール・スチーマー・酵素・スクイズ・吸引) 【到達目標】 古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。	
15	フェイシャル基礎実技⑤ 美容電気機器 (イオン導入) 【到達目標】 直流電流の理論を理解し、電気の性質によって皮膚深部に化粧品成分を導入する手技の実践を行い工程を覚え説明が出来る。	
16	フェイシャル基礎実技⑤ 美容電気機器(ディスクラステーション) 【到達目標】 直流電流の理論を理解し、電気の性質によって毛穴洗浄の手技の実践を行い工程を覚えて説明が出来る。	
17～19	フェイシャル基礎実技演習⑤ 美容電気機(イオン導入・ディスインクラステーション) 【到達目標】 直流電流の作用を理解し、イオン導入とディスインクラステーションの違いを理解して施術を行うことが出来る	
20～22	フェイシャル基礎実技演習⑧演習 美容電気機 (高周波) 【到達目標】 交流電流の作用を理解し、肌トラブル別に機器を選択出来る	
23～24	フェイシャル基礎実技演習⑨演習 フェイシャルマスク 【到達目標】 肌トラブル別にマスクの種類を塗分け、効果・効能を理解し選択出来る	
25～26	フェイシャル基礎実技演習⑩演習 美容電気機 (低周波) 【到達目標】 交流電流の作用を理解し、肌トラブル別に機器を選択出来る	
到達目標	お客様を安全にお迎えする環境設営を学び、施術を行う心得を技術面から修得する。また、基本手技マッサーやデイープクレンジングを修得し、手技の効果・目的を実践で理解出来る。	
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上単位取得可	
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習 (フェイシャル)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	84
教育目標・ ねらい	フェイシャルエステティックトリートメントの各技術工程を修得し、肌質・肌トラブルによって機器・商材の種類の選択肢があることを学ぶ。				
授業回	学習内容				備 考
1～2	フェイシャル基礎実技⑫ 超音波機器 【到達目標】超音波理論を理解し、肌質・肌トラブルの目的によって機器の選択を行い説明が出来る。				
3～5	フェイシャル基礎実技⑬ パター 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、技術工程を覚え作用目的の説明が出来る。				
6～8	フェイシャル基礎実技総合演習 1. パック・マスク 2. 高周波機器 3. 超音波機器 4. パター 【到達目標】各技術工程の備品・施術環境を整え、商材の選択・施術時間・正確な技術工程の練習を行う。また、トリートメント工程を組み立てる際に自ら時間配分や機器・商材の選択が出来る。				
9～14	フェイシャル基礎実技総合演習 全技術工程 【到達目標】各技術工程の備品・施術環境を整え、商材の選択・施術時間・正確な技術工程の練習を行う。また、トリートメント工程を組み立てる際に自ら時間配分や機器・商材の選択が出来る。				
到達目標	施術計画を元に、機器・化粧品を選択肢トリートメントを安全に行う技術を習得出来るようになる				
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上単位取得可				
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	90
教育目標・ねらい	① ボディエステティック技術を行う環境設定を学び実践する ② 基本手技マッサージを学び、効果・目的を理解する ③ ディープクレンジングの種類を学び、商材に合わせた技法を修得す				
授業回	学習内容				備 考
1	ボディ基礎実技① 1.セッティングの仕方 2.消毒の仕方 3.タオル操作 4.お客様の着替え・誘導 5. 洗浄 【到達目標】お客様をお迎えする準備を行い、衛生上安全に且つお客様に好感と信頼を持って頂く環境を整える意味を学び実践が出来る。				
2・3	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー下肢 2. スチームタオルふき取り(マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法) 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
4・5	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー臀部 2. スチームタオルふき取り(マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法) 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
6・7	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー背部 2. スチームタオルふき取り(マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法) 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
8・9	ボディ基礎実技総合演習 基本手技マッサージ1. 下肢 2. 臀部 3. 背部 【到達目標】 基本手技の下肢・臀部・背部の技術工程の復習を行い、姿勢・体重移動・リズム・連動性を修得する。				
10	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー腕 2. スチームタオルふき取り(マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法) 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
11	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー腹部 2. スチームタオルふき取り(マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法) 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
12	ボディ基礎実技総合演習 基本手技マッサージ1. 腕 2. 腹部 【到達目標】 基本手技の下肢・臀部・背部の技術工程の復習を行い、姿勢・体重移動・リズム・連動性を修得する。				
13	ボディ基礎実技総合演習 基本手技マッサージ1.下肢 2.臀部 3.背部 4.腕 5.腹部 【到達目標】 基本手技の下肢・臀部・背部の技術工程の復習を行い、姿勢・体重移動・リズム・連動性を修得する。				

授業回	学習内容	備 考
14	ボディ基礎実技③ 1.ディープクレンジング(粒子あり・粒子無し・ブラシクレンジング) 【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。	
15	ボディ基礎実技総合演習 1. 基本手技マッサージ 2. ディープクレンジング 【到達目標】基本手技マッサージを復習し、ディープクレンジングの手法を確認し商材によって技法を変える事が出来る。	
到達目標	お客様を安全にお迎えする環境設営を学び、施術を行う心得を技術面から修得する。また、基本手技マッサージやディープクレンジングを修得し、手技の効果・目的を実践で理解出来る。	
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上単位取得可	
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ねらい	① ディープクレンジングの種類と工程を学び、選択肢の幅を広げる。 ② トラブル別に効果・目的の異なる美容電気機器の工程を学び、施術目的に沿って最適な機器選択を行う。				
授業回	学習内容				備 考
1	ボディ基礎実技③ 1.ディープクレンジング（酵素） 【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。				
2	ボディ基礎実技演習 ディープクレンジング 1. 粒子あり 2. 粒子無し 3. ブラシクレンジング 4. 酵素 【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。				
3	ボディ基礎実技④ 美容電気機器（ボディガルバニック） 【到達目標】直流電流の理論を理解し、電気の性質によって皮膚深部に化粧品成分を導入する手技の実践を行い工程を覚え説明が出来る。				
4	ボディ基礎実技⑤ 美容電気機器（ボディサクション） 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、技術工程を覚え作用目的の説明が出来る。				
5	ボディ基礎実技演習 美容電気機器 1.ボディガルバニック 2.ボディサクション 【到達目標】技術工程を覚え作用目的の説明が出来る。				
6・7	ボディ基礎実技⑥ 美容電気機器（バイブレーター・G5）一下肢 【到達目標】振動応用機器の生体作用の原理を理解し、機器の使い方取得する。また、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる。				
8	【ボディ基礎実技演習】美容電気機器 バイブレーター・G5 1. 下肢 2. 背部 3. 腹部 【到達目標】美容電気機器の総合演習を行い、使用目的を理解し技術工程を行うことが出来る				
9・10	ボディ基礎実技⑧ 美容電気機器(赤外線機器・可視光線機器・保温マット) 【到達目標】各光線の仕組みと保温マットによる使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる				
到達目標	施術目的に沿って、お客様の要望に応える事が出来る施術計画を立てる事が出来るようになる。 また、各工程について効果・作用・禁忌事項を理論的に説明することが出来る。				
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上単位取得可				
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	近田		
科目名	エステティック技術実習 (メイクアップ実習)	学 年	1年	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	■基本的なメイクアップに必要なマナーやテクニックについて学び、フルメイクを仕上げる技術を習得出来るようになる。 ■CIDESCO試験に向けた対策とテクニックを習得する。				
授業回	学習内容				備 考
1～6	メイク基礎知識×技術（身だしなみ、マナー、教材の説明、レイアウト、スキンケア、ベースメイク） ①身だしなみ、マナー、事前準備、レイアウトの知識を学び、メイクする為の環境を整える準備が出来るようになる。 ②スキンケア教材の使い方や効果、使用量を学び、手順通り相手にスキンケアをつける事が出来るようになる。 ③ベースメイク教材の使い方や効果、使用量を学び、手順通り相手にベースメイクを仕上げる事が出来るようになる。				
7～12	メイク基礎知識×技術（アイシャドウ、アイライナー、ビューラー、マスカラ、） ①アイシャドウを入れる範囲とブラシの使い方を学び、基本的な3色グラデーションが出来るようになる。 ②アイライナーの使い方と引き方を学び、自然に引ける様になる。 ③ビューラーの使い方、マスカラのつけ方を学び、手順通り仕上げる事が出来るようになる。				
13～18	メイク基礎知識×技術（アイブロウ、チーク、ハイライト、シェーディング、リップ） ①美しい眉のプロポーションを学び、自眉に沿って描けるようになる。 ②チーク、ハイライト、シェーディングの入れる場所を学び、その場所に合わせて仕上げる事が出来るようになる。 ③リップブラシの使い方と手順を学び、仕上げる事が出来るようになる。				
19～24	フルメイク（印象別イメージフルメイク・クレンジング・技術向上フルメイク） ①顔の分析や色、仕上りのイメージを学び、その人の印象をガラッと変化させるメイクに仕上げられるようになる。 ②相手へのクレンジングを手順通り出来るようになる。 ③今まで学んだ各パーツの基礎技術の復習＆確認をしながら、フルメイクを仕上げ技術の向上をはかる。				
25～30	フルメイク（テストに向けたフルメイク・実技メイクテスト・セルフメイク） ①テストに向けて時間の意識をしながらメイクアップを30分でフルメイクが仕上げられるようになる。 ②実技テストを行い、自身のメイク技術を見つめ直し、課題を明確にして成長に繋がるよう目を養う。 ③教材以外の化粧品に触れ、セルフメイクの技術向上をはかる。				

授業回	学習内容	備 考
到達目標	■メイク基礎マナーからセッティング、使い方、テクニックを学び、ナチュラルにフルメイクを仕上げられる技術の習得が出来る。 ■基本技術フルメイクを30分で仕上げられる技術を習得。 ■CIDESCO試験に向けた基礎知識とメイク技術を習得し、相手に似合わせるメイクが出来るようになる。	
評価方法	■出席率、遅刻、授業姿勢評価=30点満点+メイク技術テスト評価=45点満点 トータル75点満点 A評価（75点～65点）B評価（65点～55点）C評価（55点以下） ・出席（遅刻、欠席）授業姿勢評価=30点満点（1日6点満点－出席2遅刻1欠席0×授業姿勢4） ・テスト評価=45点満点 出席不良(日頃の技術採点) なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない。	
テキスト	配布資料	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は15年以上の化粧品会社専属メイクアップアーティストとしての経験を活かし、個性を引き立て、なりたいイメージに合わせたメイク提案と、施術者自身で再現できるメイクアップ方法についての授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	高度美容技術（アロマセラピー）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	42
教育目標・ねらい	自由な発想力やアイデアを活かし、色のバランスや構成を考え作品をつくる				
授業回	学習内容				備 考
1	アロマセラピー理論編 1. 概論 2. 歴史 3. エッセンシャルオイルについて 4. キャリアオイルについて 5. 人体への吸収と排出 【到達目標】アロマセラピーの基礎知識を学び、人体への作用やエステティックとの関わりを理解する				
2	アロマセラピー理論編 6. 香りの伝達 7. ブレンディング 8. コンサルテーションシートについて 9. 危険な精油 10. ストレスについて 【到達目標】アロマセラピーの基礎知識を学び、人体への作用やエステティックとの関わりを理解する				
3	アロマセラピー技術編 1. 施術室の準備 2. 環境設定 3. 設備設定 4. 機器備品類設定 5. 商材の準備 6. 注意事項 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
4	アロマセラピー技術編 1. 技術ポイントの確認 2. 技術工程(前操作) 3. 技術工程(背部～臀部) 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
5	アロマセラピー技術編 技術工程(下肢背面・前面) 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
6	アロマセラピー技術編 1.技術工程(頭部) 2.技術工程(顔・デコルテ・首) 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
7	アロマセラピー技術編 1. 技術工程(顔・デコルテ・首)2. 技術工程(腹部) 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
到達目標	身体の不調によって、アロマオイルのブレンド行い効果・効能を考慮し技術を行うことができる。またアロマオイルの効能を活かしたホームケアアドバイスを伝えることができる				
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	シデスコアロママニュアルテキスト 新エステティック学―選択編				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	高度美容技術(匠すと)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	18
教育目標・ねらい	技術研鑽に励み、技術レベルの向上を図る				
授業回	学習内容			備 考	
1	1.競技オリエンテーション 2.各競技説明 3.各競技デモンストレーション				
2	【競技演習】				
3	【競技演習】				
4	【競技演習】				
5	【競技演習】				
6	【競技演習】				
7	【競技演習】				
8	【競技演習】				
9	競技本番				
到達目標	基礎技術工程を時間内に、衛生・安全・効果を意識しお客様対応を行うことができる。				
評価方法	当日出席/競技規定による採点基準にそった項目を100点満点で採点を行う。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。				
テキスト	全テキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	井上		
科目名	美容美術（絵画法とデッサン）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	絵画表現の基礎であるデッサンを通して「物を見る力」と「造形する力」を育成し造形的な表現方法を学ぶ。校内コンテスト『匠すと』ヘアデッサン部門に作品参加を目指す。				
授業回	学習内容			備 考	
1	絵画法とデッサンの歴史と基本について 【到達目標】 デッサンの歴史と鉛筆削り方、扱い方を学び、効果的な使い方を学び作業ができるようになる			コピー配布 カッターナイフ	
2・3	フェイスペイントデザイン 【到達目標】 フェイスペイントデザインのテーマを決めてデザインを考えて描けるようになる			色鉛筆	
4～6	ヘアーの写真を転写して髪の毛のデッサン(基本) 【到達目標】 転写法(サンプルの作品を写す技法)を学びヘアー鉛筆デッサンにおける基本的な構図、立体感、ヘアーの質感を理解し、転写法でデッサンが描けるようになる			A4ケント紙 定規（30cm）	
7	ヘアーデッサンとフェイスペイント 【到達目標】 髪の毛の構造を理解し、髪の毛の質感を表現する。彩色方法を学び表現できるようになる			A4ケント紙 定規（30cm）	
8・9	生物デッサン(動物・花のデッサン)法 【到達目標】 動物・花の構図、立体感、質感を学び描けるようになる			A4ケント紙 定規（30cm）	
10	生物デッサン(動物・花のデッサン)彩色法 【到達目標】 動物・花の質感や色を考えながら彩色して生き生きとした表現ができるようになる			A4ケント紙 定規（30cm）	
11・12	ヘアーの写真を転写して髪の毛のデッサン(応用) 【到達目標】 髪の毛の構造と質感を理解し、光と影を考えながら表現ができるようになる			A4ケント紙 定規（30cm）	
13～15	ヘアデッサンの彩色とフェイスペイント 【到達目標】 ヘアーデッサン完成後、ヘアーを彩色しフェイスペイントを描けるようになる。トータルイメージを表現できるようになる			A4ケント紙 定規（30cm）	
到達目標	デッサンの基本を習得し造形的な表現を学び、2年次に美翔祭のトータルイメージに表現して応用力をつける。				
評価方法	作品提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。				
テキスト	配布プリント				

学科	ビジネス美容科	担当教員	人見		
科目名	表現技術（話し方・国語と文章）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ねらい	社会に必要なビジネスマナーと面接対策、ビジネス検定試験合格へのスキルを身につける。 接客コミュニケーション、接客時の立居振舞い、なぜビジネスマナーは必要なのかを考える。 日本経済や歴史、情報収集、社内文書作成方法など、幅広い知識を取得し、社会人として役立てるスキルを学ぶ。				
授業回	学習内容			備 考	
1	授業ガイダンス：マナーとは何か 第一印象が大切な理由 笑顔と美しいの作り方、敬語の種類、発声法。早口言葉。活舌と声の種類。 【到達目標】 第1印象で好感度を持ってもらえる				
2	面接や仕事場での自己紹介、立ち方、座り方。接客案内時の手の動きと方向。 自分の強み、弱み、魅力を見つける。面接ロールプレイング。 ドアの開閉と接遇、ご案内。 【到達目標】 面接対策の立ち居振る舞いが出来るようになる				
3	図表、グラフの見方。統計を学ぶ。ビジネス文書の作成方法（社内・社外）。 試験で解答に必要な箇所の読み取り方。自己紹介文作成と発表、話の実践。 【到達目標】 社内と社外の対応の違いを学び、実践する				
4	サービスとは：接客ノウハウ、クレーム処理、プラスの一言、クッション言葉 売上向上に必要なことを学ぶ。顧客獲得方法とミステリーショッパー対策 報告・連絡・相談。おしゃれと身だしなみ 【到達目標】 サービスの本質を理解し、実践する				
5	電話対応：受電と架電。お客様の心理状態を読む。 表情が見えない時の対応方法。メモの取り方。5W2H。 トークスクリプトを使用したロールプレイング 【到達目標】 お客様をお待たせせず、スムーズな対応が出来るようになる				
6	ビジネス検定試験に必要な暗記方法と勉強方法。ビジネス用語。 ビジネスメールのやりとり。敬語の種類と話し方。 【到達目標】 ビジネス用語の覚え方、敬語の種類を覚え、適所に使用出来るようになる				
7	ビジネスチャンスを広げる。先を読む力。お客様の支持を得る方法を学ぶ。 要望とニーズの違い。キャリア形成とは。就職、転職、再就職、現代の働き方。 【到達目標】 自身の立ち位置を理解し、今後のキャリア形成の計画を立てる				
8	コンプライアンスと接客の基本。売上戦略とは。新聞の読み方、8つの意識。 PDCAサイクル。TPO,社外の付き合い方、冠婚葬祭。 【到達目標】 コンプライアンスの大切さを学び、仕事に生かすPDCAサイクルを理解する				

授業回	学習内容	備 考
9	ビジネス検定試験の問題を分析する① 【到達目標】テキストを使用して、セクションごとに内容・流れを把握する	
10	ビジネス検定試験の問題を分析する② 【到達目標】セクションごとの解き方、受験の心構え、ビジネス用語の覚え方を習得する	
11	ビジネス検定試験の問題を分析する③ 【到達目標】表・グラフ問題、新聞問題の読み取り方を学び、素早く解答できるようにする。	
12	ビジネス検定試験の問題を分析する④ 【到達目標】試験までに準備することを実行し、ビジネス文書・敬語問題書き換えが出来るようになる。	
13	過去問題集①：テスト形式、本番形式による筆記試験と自己採点。解答解説。	ビジネス プレゼンテーションの実施
14	過去問題集②：テスト形式、本番形式による筆記試験と自己採点。解答解説。	
15	過去問題集③：テスト形式、本番形式による筆記試験と自己採点。解答解説。	
到達目標	社会で必要なビジネスマナーの取得。美しい所作、立ち居振る舞いを身につける。 ビジネス検定試験のテキストを参考に、洗練された接客対応の実践が出来るようになる。	
評価方法	ビジネスプレゼンテーションによる採点（ABC評価・話し方・立ち居振る舞い）とする。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	2023年 ビジネス検定試験テキスト、問題集。配布プリント。	

学科	ビジネス美容科	担当教員	人見		
科目名	表現技術（ビジネス実務）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ねらい	面接対策と社会のルールの復習、職場に合わせたハウスルールやワンランク上の接客対応を身に着ける。テキストを使用しながら、お客様心理や顧客を長く惹きつける方法を学ぶ。				
授業回	学習内容			備 考	
1	自分のキャリアを考える。働くこととは。社会で必要とされる人物とは。 仕事への取り組み方。責任と職業倫理。積極性と自主性。 自分の役割を考える。コンプライアンスとITのビジネス環境。 【到達目標】組織と社会の仕組みが理解できるようになる				
2	1年時の総復習。9つの意識。 笑顔トレーニング。TPOとは。自己表現と身だしなみルール。 【到達目標】ビジネスとしての自己紹介と自己PRが出来るようになる				
3	話し方のロールプレイング。様々な場面での切り返しトーク、 両面販売方法を学ぶ。お客様の満足度を上げるために必要なことを知る。 【到達目標】スムーズに接客ロールプレイングを進められるようになる				
4	歩き方、所作の作法、視線の効果。敬語マスター。 自分へのマネジメントと見せ方。来客対応の流れ。 【到達目標】敬語と合わせて立ち居振る舞いが出来るようになる				
5	クレーム処理と顧客満足度。活躍し、期待される人は何が違うのか。 利益とホスピタリティ精神。オペレーション方法。顧客意識。 ニーズと要望。サービスの提供方法を学ぶ。問題の拡大を防ぐ。 【到達目標】顧客のニーズを把握しヒアリング出来るようになる				
6	円滑なコミュニケーションに必要なこと。ものの考え方。 職場で気を付けること。健康管理とルール。ストレスとの付き合い方。 【到達目標】健康管理、職場のストレスを理解する				
7	報告・連絡・相談の重要性。ビジネスの目的と心構え。 傾聴力とお詫びの態度。質問の技術と答え方。 【到達目標】伝え方、答え方を学び、実践できるようになる。				
8	商談の進め方。コンサルティングセールスとは。 信頼を得るポイント。見込み客から得意客へ。情報収集の大切さ。 【到達目標】情報収集の仕方を学び、実践できる				
9	チームワークの重要性。会議の必要性。プレゼンテーションの目的。 チームワークとリーダーの役割。後輩の育て方。労働と信用取引。問題解決能力。 【到達目標】在学中からチームワークを意識して行動する				

授業回	学習内容	備 考
10	人脈とビジネスチャンス。業務の種類と管理。スケジュール管理。 環境の変化によるIT化と在宅ワーク社会。情報セキュリティと危機管理。 計画の重要性。数値情報の大切さ。数値の読み取り方。 【到達目標】 情報とIT化について仕事を通して理解する。	
11	電話応対の実践 ペアワークでお客様への電話応対ロールプレイング 予約・カウンセリング・お問合せ（エステ・化粧品・ネイル） 【到達目標】 お客様をスムーズにお待たせせずに会話が出来るようになる	
12	立ち居振る舞いの実践 自分を客観的にし、立ち居振る舞いを学ぶ。 面接時、接客時の立ち方、笑顔・背筋の作り方、歩き方、座り方、声の出し方、トーンや発音を同時に意識する。 【到達目標】 総合的に美しい立ち居振る舞いと発声で接客出来るようになる	
13	自身が持てるスキルを学ぶ これから生かせる思考力・傾聴力・ヒアリング対応・お客様心理・自己の高め方・モチベーションアップのコツなど、社会で役立つ考え方、ストレス回避術を学ぶ。 【到達目標】 より高度な思考とスキルの習得、ストレス耐性について意識する	
14	コミュニケーション術 お客様、お取引先・上司・部下・同僚とのコミュニケーション、より良い人との関係、幸せになるための人間関係構築術を学ぶ。 【到達目標】 人間関係の不和はどうして起きるのか、夢を叶えるための処世術、目標達成のためのメンタル管理を理解し、実践していく。	
15	ビジネスプレゼンテーション これからのキャリアと将来の夢・実現させたいこと・理想の自分の姿 【到達目標】 目標を持ち、具体的な計画を立て、実現をさせていく。	
到達目標	敬語を使用し、スムーズにお客様へのご案内が出来るようになる。 お客様に選ばれる、明るく印象のよい接客が出来る。所作の美しい動きが身につく。 社会で必要とされる存在になる知識と技術を身につける。 キャリア形成に必要な意識を身につける。	
評価方法	授業の中で2回、面接対策のプレゼンテーションを実施（ABC評価）。 敬語小テストを行う（100点満点）。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス、配布プリント	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田/笹木/森谷		
科目名	ビジネスマインド	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義・演習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	45
教育目標・ねらい	社会的コミュニケーションの基礎となる目配り・気配り・心配りの意義を深く理解する。 また相手の立場に立って行動出来るよう自己理解を深める。各種技法の意味を理解し自己改善を図ること で主体的に実践出来るようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	LESSON1 ビジネスパーソンとは 「1-1学生と社会人との違い」 【到達目標】 職業人としての自覚を芽生えさせる。			ビジネスマナー テキスト p1～2	
2	自己分析 【到達目標】 自分の強みや特徴を把握し、自分を客観的に見ることができる			ワークシート	
3	LESSON1 ビジネスパーソンとは① 「1-3 NG行動、1-5 話の聞き方、1-6 笑顔」 【到達目標】 良質な人間関係を築くために基本マナーを知る。			ビジネスマナー テキスト p4.7～8	
4	LESSON1 ビジネスパーソンとは② 「1-3 NG行動、1-5 話の聞き方、1-6 笑顔」 【到達目標】 良質な人間関係を築くための基本マナーを知る。 加えて、「話し手」と「聞き手」のマナーを知る。			ビジネスマナー テキスト p4.7～8	
5	LESSON2 身だしなみ+立ち居振る舞い「2-1 身だしなみ、2-2 立ち居振る舞い」 【到達目標】 『品性』のある身のこなしを学び、実践する。			ビジネスマナー テキスト p9～13	
6	LESSON6 ビジネスパーソンとしてのマナー 「6-1 時間のマナー、6-2 仕事上手のコミュニケーション、6-3 PDCA」 【到達目標】 職場での円滑な関係性を築くための基本マナーの習得。			ビジネスマナー テキスト p51～54	
7	宿泊オリエンテーション 【到達目標】 コミュニケーション能力を習得し、円滑に対人関係を結ぶ				
8	宿泊オリエンテーション 【到達目標】 人から信頼される為に、主体的に物事を考え行動に移す				
9	オリエンテーション振り返り			ワークシート グループワーク	
10	LESSON3 言葉遣い① 「1-2 OK行動、3-1 敬語、3-2 敬語のテクニック、 3-3 気になる日本語、3-4 よく使う接客用語」 【到達目標】 職業人として言葉の使い方を学び、表現できる。			ビジネスマナー テキスト p3.17～24	
11	LESSON3 言葉遣い② 「1-2 OK行動、3-1 敬語、3-2 敬語のテクニック、 3-3 気になる日本語、3-4 よく使う接客用語」 【到達目標】 職業人としての言葉の使い方を学び、表現できる。			ビジネスマナー テキスト p3.17～24	
12	LESSON1 ビジネスパーソンとは① 「1-4働く心構え」 【到達目標】 『9つの意識』を理解し、学園生活での行動にも活かせるように する。加えて、正しい価値観・職業観を学ぶ。			ビジネスマナー テキスト p5～6	
13	LESSON1 ビジネスパーソンとは② 「1-4働く心構え」 【到達目標】 『9つの意識』を理解し、学園生活での行動にも活かせるように する。加えて、正しい価値観・職業観を学ぶ。			ビジネスマナー テキスト p5～6	

授業回	学習内容	備 考
14	LESSON1 ビジネスパーソンとは③ 「1-4働く心構え」 【到達目標】『9つの意識』を理解し、学園生活での行動にも活かせるようにする。加えて、正しい価値観・職業観を学ぶ。	ビジネスマナー テキスト p5～6
15	クラス目標・個人目標振り返り LESSON6 「6-4 コンプライアンスとは、6-5 公私の区別、6-10 SNSの使い方とマナー」 【到達目標】守るべき行動規範を理解し、社会の一員としてモラルを守って生活することができる。	ビジネスマナー テキスト p 55～56.68～69
16	クラス目標・個人目標振り返り LESSON4 来客対応① 「4-1 方向や商品の示し指し、4-2 案内誘導、4-3 飲み物の提供、4-4 物の授受、4-5 お会計、4-6 お出迎え・お見送り」 【到達目標】接遇リテラシーを習得し、実務実習で実践する。	ビジネスマナー テキスト p 25～40
17	クラス目標・個人目標振り返り LESSON4 来客対応② 「4-1 方向や商品の示し指し、4-2 案内誘導、4-3 飲み物の提供、4-4 物の授受、4-5 お会計、4-6 お出迎え・お見送り」 【到達目標】接遇リテラシーを習得し、実務実習で実践する。	ビジネスマナー テキスト p 25～40
18	クラス目標・個人目標振り返り LESSON5 電話対応①「5-1 基本、5-2 実施フロー、5-3 こんなときどうする？、5-4 予約の受け方、5-5 アポイントメントの受け方、6-11 クレーム対応」 【到達目標】接遇リテラシーを習得し、就職後に実践できるようにする。	ビジネス マナーテキスト p 41～49.70～71
19	クラス目標・個人目標振り返り LESSON5 電話対応②「5-1 基本、5-2 実施フロー、5-3 こんなときどうする？、5-4 予約の受け方、5-5 アポイントメントの受け方、6-11 クレーム対応」 【到達目標】接遇リテラシーを習得し、就職後に実践できるようにする。	ビジネス マナーテキスト p 41～49.70～71
20	クラス目標・個人目標振り返り LESSON6 ビジネスパーソンとしてのマナー① 「6-6 頂き物の取り扱い、6-7 共有スペースでのマナー、6-8 名刺交換」 【到達目標】ビジネスパーソンとしての基本マナーを学び、就職後に実践できるようにする。	ビジネスマナー テキ スト p 56～67
21	クラス目標・個人目標振り返り LESSON6 ビジネスパーソンとしてのマナー② 「6-6 頂き物の取り扱い、6-7 共有スペースでのマナー、6-8 名刺交換」 【到達目標】ビジネスパーソンとしての基本マナーを学び、就職後に実践できるようにする。	ビジネスマナー テ キスト p 56～67
22	実務実習の振り返り	ワークシート グループワーク
23	クラス目標・個人目標振り返り LESSON6 ビジネスパーソンとしてのマナー③ 「6-9 手紙の書き方」 【到達目標】ビジネスパーソンとしての基本マナーを学び、就職後に実践できるようにする。	ビジネスマナー テキスト p 64～67
到達目標	職業人を目指すうえで、学んだ知識・技術そして心構えを実践し、相手からの信頼を得られることが出来る。	
評価方法	実務実習・学外実習等における実習指導者の評価及び個人目標振り返りによる自己評価と、それに基づく担任面談の結果による。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない。	
テキスト	ビジネスマナーテキスト	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田/笹木		
科目名	華道/華道造形	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ねらい	自由な発想力やアイデアを活かし、色のバランスや構成を考え作品をつくる				
授業回	学習内容			備 考	
1	【フラワーアレンジメント】 【到達目標】 題目を決めて自由に創作し、創造性と感受性を養う				
2	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】 【到達目標】 テーマに沿ったデザイン画を作成し、色・素材・トータルバランスを考える				
3	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】① 【到達目標】 テーマに沿った作品を作成し、衣装やヘアセットのバランスの調整をとる				
4	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】② 【到達目標】 テーマに沿った作品を作成し、衣装やヘアセットのバランスの調整をとる				
5	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】③ 【到達目標】 テーマに沿った作品を作成し、衣装やヘアセットのバランスの調整をとる				
6	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】① 【到達目標】 テーマに沿ったヘッドアレンジメントを着け、メイク・衣装・ウォーキングを通し全体のバランスの確認を行う				
7	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】② 【到達目標】 テーマに沿ったヘッドアレンジメントを着け、メイク・衣装・ウォーキングを通し全体のバランスの確認を行う				
8	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】 【到達目標】 ヘアショー本番に向けて、証明や演出・構成のバランスの最終確認を行う				
到達目標	創造性を養い、イメージを形に起こすことが出来る				
評価方法	制作物・課題提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。				
テキスト	配布プリント				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	学園祭	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	基礎技術理論・演習を学び、お客様へ施術を行う工程を学ぶ。 また、ビジネスマナーと接客を通し実践を行う。				
授業回	学習内容				備 考
1	1. 学科コンセプト・技術内容のミーティング 【到達目標】 基礎技術理論・演習で学び、習得した技術をお客様に提供する方法を考えることが出来る				
2	2. 店舗マネジメント 【到達目標】 客層リサーチ・集客方法・値段設定・予約時間設定・商材選定を行い、目標金額設定を行い店舗管理能力を養う				
3	3. 模擬店舗運営① 【到達目標】 実際の店舗を想定し、接客・施術・備品管理・シフト管理・会計を行い導線の確認を行う				
4	4. 模擬店舗運営② 【到達目標】 技術レベルの確認を行い、技術提供レベルを学生同士フィードバックを行う				
5	5. 模擬店舗運営③ 【到達目標】 実際の店舗運営リハーサルを行い、安全・衛生・技術の最終確認を行う				
到達目標	お客様に施術を提供する意味を理解し、自信で技術習得に励み店舗運営の方法を考察することが出来る				
評価方法	課題提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る出席者は評価対象としない。				
テキスト	新エステティック学 技術マニュアル				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・森谷・川添		
科目名	学外実習	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選 択の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	① 業界理解を深める為、実際の現場で業務の流れを学ぶ ② 主体的に仕事に取り組む姿勢を学び、仕事の優先順位を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	【学外実習①】 1. 現場を知る 2. ここで得た知見を自分の将来像決定に活かす 1年次：6月 30時間 （1日6時間勤務） 実習先：エステサロン・ホテルスパサロン				
2	【学外実習②】 1. 自分がしたい仕事の分野はどこかを決める 2. この実習を通して、具体的な就職分野を明確にする 1年次：2月 30時間 （1日6時間勤務） 実習先：エステサロン・ホテルスパサロン				
到達目標	1. 現場体験を通してビューティ業界に携わる自己の職業観・職業意識を確立する 2. 学内で学んだ知識と技術を活かし、現場で「お客様」にはならず、どんな役割でもきちんとこなし、スタッフに愛され、重宝される存在として、存在価値を認めてもらえる人間となる				
評価方法	実習先からの評価と本人評価をもとに担任面談を通して学外実習の最終評価を行う。なお所定授業時間数(全体の4/5)を下回る学生は評価を受けることができない				
テキスト	配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				